

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども生活館おひさま		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日	～	令和6年11月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	令和6年11月1日	～	令和6年11月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	令和6年11月1日	～	令和6年11月19日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小学校や幼稚園、保育園などが近辺にあり、地域に根付いた支援が展開しやすい	支援以外にも学校や園を訪問したり、訪問先職員の方をこども生活館おひさまにお招きしたりしながら支援についての想いを深め、連携を図らせて頂いています。	地域への関わりを上げ、療育を利用されていない方でもお気軽に集団での困りやこどもの成長についての相談をして頂けるような取り組みにしていきたいと思っています。
2	訪問先施設の先生方が訪問支援の内容を理解して下さり、受け入れてくださる施設が広がっていること	訪問先施設の先生方と日時や場面の決定をする際に、訪問支援の目的やねらいについてご理解いただくことで訪問支援を行うことができます。利用者の様々な様子について必要な支援を実施しながら伸ばしたい力を共有し、支援を行わせて頂いています。	園や学校との関わりを上げ、お子様の発達段階における適切な支援について、顔を合わせて話の出来る機会を設けていきます。ご家族や保育所等が困った時に安心して頼って頂けるような訪問支援を目指します。
3	お子様が訪問を嫌がることなく、訪問を楽しみにできていること	訪問先施設やお子様の年齢によっては訪問方法を検討し、園の方針に合った様々な支援方法を模索し、本人の気持ちに寄り添いながら支援を行うように配慮を行っています。訪問を楽しみにして下さっている方もいらっしゃると思います。安心感を持ち、集団生活の中で過ごすことができるような配慮をしています。	訪問支援を行わせていただく中で、普段生活している集団の中でどのようなかわりがお子様に適しているかを考え、ご家族や園、学校の先生方と引き続き連携を図らせていただきたいと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援制度自体の啓発が地域に浸透していない。	福祉が利用できる(手続きなども含め)制度が十分に浸透していない。	活動に参加していくための環境への取り組みとしての必要性を伝えていきます。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 こども生活館おひさま

公表日 令和7年2月21日

利用児童数 令和6年11月15日 11名

回収数

9名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	9				現在、教具教材を使つての訪問支援は行っておりませんが、園や学校の先生方へ必要な教材についてお伝えをさせてもらっています。	
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	9				面談の際には保護者の皆様に安心してお話をして頂けるよう、相談室を設けております。	
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	9				契約を行う際に訪問の目的、内容については保護者の皆様へ直接お伝えをさせて頂いております。	
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	9				保護者の皆様から相談をお受けし、学校や園と予定を調整させて頂いてから訪問を実施しています。	
適切な 支援の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	9				訪問支援員他、ご相談に応じて多職種連携を行い、様々な視点から支援を行うことができるようにしています。	
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9				訪問支援員は内部研修、外部研修を重ね、専門的知識を高められるよう取り組んでいます。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9				こどもの願いやと保護者のニーズについて様子の観察やお話を聞かせて頂く中で課題抽出、職員間でもカンファレンスを十分に行いながら個別支援計画の作成をしています。	
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	9				訪問先施設、担任の先生方と現在のお子様の発達状況や課題についてカンファレンスを行いながら計画作成を行っております。	
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9				お子様本人、訪問先職員に対する支援、ご家族に対する支援を個別支援計画書にも取り入れて作成しています。	
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9				個別化された支援計画書を作成し、一人ひとりに合わせた支援内容を提供させて頂いております。	
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	9				園や学校の先生と連携を図り、行事等に配慮を行いながら訪問日時と支援内容を決定しています。	
保護者への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9				運営規程、利用者負担等について契約書に沿って説明をさせて頂いています。ご不明な点はいつでもお問い合わせ頂けるようにしております。	
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9				保育所等訪問支援計画は保護者やご本人の思いを取り入れ、作成をさせて頂いています。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	9				一年に一回、ペアレントプログラムを実施しています。	
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	9				こどもの状況について、児童発達支援、放課後等デイサービスの様子も踏まえてお伝えしています。保護者の方との共通理解を図り、同じ歩幅で成長を見届けることができるようにしています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9				定期的な面談を通して、お子様の育ちについて共通理解を持てるよう取り組んでいます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9				職員はお子様の育ちや思いを第一に考え、保護者の皆様やこどもに寄り添った支援を行っていきます。	
18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9				保護者の方から相談があった場合、また訪問先施設からの申し出があった場合は即座に連携を図り、訪問支援を実施できるようにしています。		

	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					保育所等訪問支援を行った際にはお子様に直接的な支援を行っています。またその様子や状況について保護者の皆様と共有できるよう連絡をさせて頂いております。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	9					訪問先施設からのご相談があった際には、その施設でできる支援内容についてのご提案をさせて頂いております。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	9					支援を行った後に訪問先施設職員と個別支援計画書に沿った支援内容についてお話をしています。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	9					訪問を行った際に訪問先施設職員と話をさせて頂いた内容、またお子様の様子や実施した支援内容について保護者の皆様と共有をさせて頂いております。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9					日常の様子はInstagram等を通じて発信しております。自己評価についてはホームページ等に掲載しております。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9					法人の個人情報保護規定を基に厳重に管理し、職員は研修を毎年度受講し研鑽しています。安心して利用して頂けるよう引き続き留意して参ります。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	9					訪問先施設と連携ができるような体制をとっております。緊急時にすぐ連絡を行えるようにしています。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9					年2回行われる家族会で必ず安全計画等の説明をさせて頂いております。また事業所にも掲示してありますので是非ご覧ください。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	9					1人ひとりの特性に応じて支援方法を変えております。普段通り、集団の場で過ごすことができるよう配慮をしております。
	28	事業所の支援に満足していますか。	9					保護者の皆様が安心して利用することができるよう、引き続き支援を行ってまいります。

公表 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日	令和7年2月21日
こども生活館おひさま	利用児童数	令和 6 年 12 月 1 日 回収数 5

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	5				保育所等訪問支援を実施した際には、お子様が通う園や小学校等の環境を考慮した支援方法をご提案させて頂いています。
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	4	1			訪問支援員は内部研修、外部研修を受け、より知識や技術をもって訪問を行えるようにしております。
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	5				多職種での訪問を行い、様々な視点からの参加や活動の支援を考え、お子様の意思を尊重した関わりが何かを適時訪問先職員と一緒に検討させて頂いております。
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	5				十分な知識や技術を持たれた先生方ですが、よりお子様が集団の中で安心して過ごすことができ、満足感を高められるよう支援を実施しています。
5 事業所からの支援に満足していますか。	5				利用されているお子様について情報を共有し、ご本人やご家族が安心して集団生活を送ることができるよう、知識や技術を高めながら今後も支援を行っていきます。
その他のご意見	ご意見を踏まえた対応				
・学校を訪問して頂くにあたって、書類提出などご迷惑をおかけしましたが、丁寧に段取りを組んでくださったので、こどもたちについて一緒に考える機会がたくさん持つことができ、よかったです。	・訪問日時においては行事、先生方のご都合等に配慮を行い、訪問を決定していきます。保護者様からのご要望、個別支援計画書の内容に沿って今後も訪問をさせていただきます。				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年2月21日				
子ども生活館おひさま						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○			現在は訪問先施設にある教材を活かし、提案できるようにしています。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			保育所等訪問支援員2名、ニーズに応じて児童発達支援管理責任者1名で訪問を行っております。
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			保育所等訪問支援後には必ず職員、必要場合は児童発達支援管理責任者を交えて振り返りを行い、次回の訪問へ繋げられるようにしています。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			保護者の皆様からの意見を基に訪問支援を行っています。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			定期的な話し合いを設けています。訪問前後には訪問における目標等、職員間で話をする機会を設けています。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者評価の実施には至っていません。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			内部、外部研修共に積極的に参加をさせて頂いております。今後も専門知識を高め、充実した支援へ繋げていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○			ご本人、ご家族の方々と面談を行い、お子様の現状や課題について共通理解を図り、ニーズに合った支援計画を作成しています。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			児童発達支援責任者を含めた多職種で様々な方向から子どものニーズを捉え、支援計画を作成しています。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			訪問先施設担当者の先生方と連携を図り、保護者の方の思いや伸ばしたい力について共通理解をし、支援計画を作成しています。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			保育所等訪問支援計画書を作成する際には職員間でカンファレンスを行っています。計画書に沿って支援を行っています。
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			アセスメントツールを用いてお子様の成長段階の把握を行い、発達段階やその時に必要であるとされる支援を計画しています。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			訪問先施設の状態なども踏まえ、思いや理念も大切にしながら、環境に合わせた支援内容を設定しています。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			保育所等訪問支援計画を作成する際には職員間でのカンファレンスを行い、分析を行いながら作成しています。支援の内容の情報共有も行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			訪問支援日が決定した際には職員同士で最近の様子等を改めて共有し、訪問施設においての支援へ繋げることができるようにしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			当日の支援を振り返り、お子様の様子や今後の関わり方、訪問施設の現在の方向性や取り組みについて共有しています。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○			訪問先施設の理念や支援方法を第一に考え、それに合わせた手段や支援内容の提案をさせて頂いております。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○			支援内容や先生とのやり取りは必ず記録し、支援計画や目標設定に活かしています。
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			都度保護者や訪問先施設の意向、ニーズについてお話をさせて頂いております。必要に応じて計画書の見直し、更新をしています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者と訪問支援員で参加しています。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		お子様の関係機関との連携を図りながら支援していきます。また必要に応じて関係機関へ繋ぐ提案をしています。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行支援シートを用いて共有をしています。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		内部研修他、外部研修にも積極的に参加し、知識向上を目指しています。次年度は幅広くe-ラーニングの受講も準備しています。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		法人職員が自立支援協議会・子ども部会・児童発達支援センター会議に参加し、意見の提案をしています。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		お子様の様子について保護者の皆様と共有しながら、伸ばしたい力について共通理解を図れるよう取り組んでいます。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		定期的に行っています。ペアレントプログラムは年1クール全6回で開催しています。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や変更があった時など必要に応じてご説明をさせて頂いております。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		訪問日時を決める際に、保護者の思いや本児の様子を振り返り、訪問目的をお伝えさせて頂いております。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者の方とお話をさせて頂き、こどもやご家族の意向や思いを確認させて頂いています。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		説明させて頂き、同意を得た上で支援しています。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		定時とカンファレンスや訪問の都度、他随時お電話などでお話できる機会を作らせて頂いております。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		家族同士の交流の場としておひさまカフェやオヒサマルシェを開催しています。ごきょうだいの皆様も一緒に参加して頂けるような行事をご用意しています。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申し入れがあった際には適切に対応できるよう心掛けています。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		おたよりやInstagram、ホームページなどで活動の様子を発信しております。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		法人の個人情報保護規定を基に厳重に管理し、職員は研修を毎年度受講しています。ご家族への説明は、契約時や家族会の際にお伝えさせて頂いております。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お一人お一人に合わせて配慮できるよう取り組んでいます。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		ご相談があった際には訪問先の理念等に配慮を行いながら、お話をさせて頂いております。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		訪問支援を行った後には、最近のこどもについて情報共有を図り、今後伸ばしたい力について支援計画に基づき、カンファレンスを行っています。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		訪問先施設の担当者やカンファレンスをした内容や具体的に支援した内容についてお伝えしています。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		法人の個人情報保護規定を基に厳重に管理し、職員は研修を毎年度受講し研鑽しています。

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			話しやすい、相談しやすい関係づくりを意識し施設先の状況に合った支援内容をご提案しています。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			年に2回家族会を実施し、事故防止、緊急対応、防犯、感染症などのマニュアルについて御説明をさせて頂いています。事業所に掲示もしています。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			安全計画を作成し、毎月の職員研修で意識を高められるようにしています。定期的な見直しも行っていきます。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			ヒヤリハットが起った際には職員間で振り返り環境や職員配置、支援方法などの見直しを行っていきます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			法人内研修、外部研修の他、毎月事業所内職員研修も行い新しい情報も取り入れ、良い支援に繋がれるように取り組んでいます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			現在必要とする対象児童はおりませんが、身体拘束についての研修を受け一人ひとりが知識を持って支援を行っています。